

(様式 5 : 全対象事業共通)

令和 5 年度第 1 回エネルギー構造高度化・転換理解促進事業評価報告書

補助事業名	唐津スマートレジリエンス拠点構築事業			
補助事業者名	唐津市			
補助事業の概要	唐津市浄水センター（下水処理場）を中心としたエリアにおいて、多様な再生可能エネルギー設備及びエネルギー貯蔵設備等を導入することで、平常時は浄水センターの再エネ電力として活用し、非常時には重要拠点となる公共施設へ電力を供給できる仕組みを構築することを目的に、以下の調査を実施した。 ①更なる再エネ導入最大化のための詳細調査・設計検討 ②分散型エネルギーリソースを統合的に管理する EMS の詳細調査・設計検討 ③本レジリエンスモデルの非常時における拡張機能（近隣避難所等との連携・連結等）についての詳細調査・設計検討			
総事業費	34,980,000 円			
補助金充当額	34,980,000 円			
定量的目標	本スマートレジリエンスモデルは、再エネ発電リソース、蓄電リソース及び各リソースを管理するためのエネルギーマネジメントシステムの組み合わせからなるもので、他地域への展開可能性を有していることから、本モデルを唐津市地域防災計画に記載することで、離島や中山間地といった市内の他地域における展開を検討する。 以上の点を踏まえ、成果目標は以下のとおりとした。 ■事業の成果目標			
	目標項目	2025 年	2027 年	2030 年 (累計)
	1. 本モデルを市内他地域に展開	唐津市地域防災計画に明記	1 箇所	2 箇所
補助事業の成果及び評価 (事業毎にあらかじめ設定した事業目標を達成したかなど)	①防災力の向上 本スマートレジリエンスモデルは、再エネ発電リソース、蓄電リソース及び各リソースを管理するためのエネルギーマネジメントシステムの組み合わせからなるもので、他地域への展開可能性を有していることから、本モデルを唐津市地域防災計画に記載することで、離島や中山間地といった市内の他地域における展開を検討した。 更に、本モデルの普及を通じて市内外の事業者による様々な脱炭素化に向けた取り組みを誘発することで、地域経済波及効果も期待できる。			

補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約 (※技術開発事業のみ:間接補助を行った場合は、間接補助先を記載)	契約(間接補助)の目的	(1) 更なる再エネ導入最大化のための詳細調査・設計検討 (2) 分散型エネルギーリソースを統合的に管理するEMSの詳細調査・設計検討 (3) 本レジリエンスモデルの非常時における拡張機能(近隣避難所等との連携・連結等)についての詳細調査・設計検討
	契約の方法	随意契約
	契約の相手方(間接補助先)	株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所
	契約金額(間接補助金額)	34,980,000円
来年度以降の事業見通し	モデル地域として令和5年度の調査結果をもとに最大限の再エネ設備及び蓄電リソース等を導入し、市民等のエネルギー構造高度化に向けた理解が促進される効果的な「見える化」の仕組みを実証・検証する。	

(備考)

- 1 事業完了した日から3ヶ月以内の提出をお願いします。
- 2 定量的成果目標の欄には補助金応募申請書提出時に設定した成果目標をそれぞれ記載すること。
- 3 補助事業の成果及び評価の欄には、公募要領8. で記載した内容に対応した、定量的な成果実績と評価を記載すること。それ以外にも、定性的な成果実績や、進捗度、利用量並びに効果等といった別の定量的な指標があればできる限り数値を用いて記載すること。
- 4 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。間接補助を行った場合は、記載不要。
- 5 来年度以降の事業見通しの欄は、本事業に来年度以降も補助金を充当しようとする場合のみ記載。